

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大日向地区 集落再熟事業
事業主体 (連絡先)	大日向地区 (生坂村役場 健康福祉課 0263-69-3500)
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,750,093 円 (うち支援金: 3,905,000 円)

事業内容

大日向地区は、農業の担い手不足や耕作放棄地の増加等から、地域農業の衰退が課題であったことから、定住就農者の受け入れや地区で提供できる農作物の特産化を目指し、農業の活性化に向けた取り組みを進めていくこととしました。

本事業では、にんにくやクレソンの栽培を通じて、地域の特産となる農作物の掘り起しを行うほか、地区内において定住就農者がぶどう農家として自立するための、施設環境の整備を実施しました。

- 地区におけるにんにく、クレソンの栽培、加工研究
- 栽培先進地の視察、栽培講習会
- 定住就農者受け入れのための施設整備

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

当事業では、地域での特産化に向けたにんにくやクレソンの栽培、また農地再生事業を通じて地区の遊休荒廃地の解消や産業振興の推進を図ることができた。地区と定住就農者が協力して取り組むことで、地域の親睦や交流を深めるとともに地域の活性化を推進することができた。

にんにく栽培では、当年度中に区内で組合発足にもつながり、さらなる事業の推進を進めていくこととしたい。また本年度、地区内へは1名が就農予定者として定住した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ニンニク栽培に関しては、事業を特化して進めるため、本年度、区民有志による大日向ニンニク生産組合を新た発足することとなった。今後、栽培エリアの拡大や供給体制確立に向けて、取り組みを推進していくこととしたい。



【にんにく栽培作業】

【目標・ねらい】

- ①地域農業の活性化
- ②定住就農者の受け入れによる地区の活性化
- ③地域協働の取り組みを通じた地域交流の促進

※自己評価 【A】

【理由】

事業を通じて、地域農業の活性化を推進することができ、地区内で新たな組合組織の発足につながった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある